

鍼灸の魔術師

(21)

ペンギン・文・育

風邪の原因と予防



かぜは正式には「かぜ症候群」といい、鼻からのど、気管支にかけての粘膜の炎症によって起きる病気の総称だ。健康な人

でも、一年に平均五〜六回はかかるといわれ、その大半がウイルスによつて引き起こされる。かぜは誰でもよくかかるポピュラーな病気だ。過労で疲れているときや季節の変わり目、サシパウロのようになり、モッグがひどく気候が不順なときは要注意だ。かぜの原因はいろいろだが、大部分はウイルスによる感染といわれている。誰もが発病するのではなく、体力が弱つた人や、抵抗力の弱い子ども、老人などがかかりやすいといわれている。水やくしゃみ、全身の

違和感程度の軽いものから、頭痛、発熱、寒け、発汗、全身のだるさなどの重いものまで、症状はさまざま。場合によつては寝込んでしまうこともある。特に「かぜは万病のもと」といわれるように、長引かせてしまうと気管支から肺に炎症を起こす。ただのかぜと思つていたものが、実は急性扁桃炎だったり、予後が悪いと急性腎盂炎を併発したりするケースもある。抵抗力のないお年寄りや赤ちゃん、心臓病や糖尿病などの慢性病のある。